

子どもたちとまわりの方々の命と健康を守るために 新型コロナワクチン接種を今すぐ受けてください



感染拡大によって、重症化・入院・亡くなる子どもたちが増加 ワクチン接種で、新型コロナウイルス感染症から子どももオトナも守ろう

新型コロナウイルス感染症陽性者の約3割は、10代以下の子どもたち。
2022年7月以降に6人のお子さんの死亡が報告され、これまでに21人のお子さんが亡くなっています。
NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会は、
5歳以上のすべてのお子さん、オトナの方々への新型コロナワクチン接種を強く推奨しています。



ワクチン接種で 感染予防、重症化予防

ワクチン接種で、5～11歳の感染者を3分の2に、
入院を3分の1に減らすことができる。
小児医療の負荷を減らして、新型コロナウイルス感染症
以外の病気や事故に対する医療体制も守ろう。



子どもの副反応は、 オトナに比べて軽い

5～11歳の2回接種率は17%。12～19歳の
75%と比べて極端に低い。(2022年8月8日)

日本ですでに126万人以上が2回接種を終え、
世界各国でも多くの小児の接種しているが、
11歳以下の接種後の発熱は、12歳以上に比べて
軽く、重篤な副反応の報告もない。



小児ワクチンの臨時接種は 9月30日まで(8月9日現在)

期限にかかわらず、できるだけ早く1回目の接種を受けてください。
新型コロナウイルス感染症の流行拡大で、
ワクチン接種が困難になる前に、医療機関に早めのご相談を。